

平成29年度 **あきたスマートカレッジ** (報告)

総合開講式・開講記念講演

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂



4月29日(土)に、「あきたスマートカレッジ」総合開講式が開催されました。昨年度のカレッジ受講者総数は、6,000人を超えました。今年も多数の方々にお申し込みをいただいております。今年度はカレッジの回数を大幅に増やし、県民の皆様により多く自己実現の場を提供しました。また、地域社会を元気にする原動力「行動人」が増えることを目指し支援しました。

開講式では学長である佐竹敬久知事から、時にユーモアも交え、カレッジの新たな試みとして、第一に「行動人」を養成する講座(基礎・実践コース)、第二に

日中お忙しい方にも受講していただくために午後7時開講のトワイライト講座を設けたことが紹介されました。佐竹学長は、「生涯学習が県民の皆様の心豊かな生活につながることを祈念します」と述べ挨拶を締めくくりました。

その後、にかほ市の生涯学習で切り絵や版画、陶芸の指導に長年取り組まれている熊木昭夫さんに「ブロンズ・マナビスト」の奨励証が授与されました。熊木さんは表彰後に学長とがっちり握手をされ、感無量の表情で奨励証を会場の参加者に示されました。



ブロンズマナビスト
熊木 昭夫 氏

板東久美子氏による開講記念講演



総合開講式に続いて行われた開講記念講演では、元秋田県副知事で前消費者庁長官の板東久美子氏が、「内から見た秋田・外から見た秋田」と題して講演を行いました。板東氏は、少子高齢化や人口減少などを抱える課題先進県こそフロンティアであるとの考え方に立ち、人間の質と能力の高さ、人間性のよさという秋田の魅力を「強み」として大きな可能性を切り拓いていくべきと話されました。そして、女性や若者に加えて、「ソト者」すなわち県外からの交流人口を増やすことで新たな力と視点を取り入れる必要性を強調されました。

最後に、生涯学習による人材育成が今後の地域活性化の鍵になるとし、県民一人ひとりが必要な行動を起こす「行動人」の重要性を指摘されました。

※板東久美子氏の講演録は別ファイルからダウンロードできます。